（様式第2号）

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年7月12日
事業者名:	株式会社艶金

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール（最大3つ）	実績	指標・目標	
環境	バイオマスボイラー使用による二酸化炭素の排出量削減、使用電力の再生可能エネルギー化、省エネルギー染色機などの導入、ダンボールコンポスト活動、地域との交流、もったいない精神をコンセプトにした自社ブランド開発。	⑦エネルギーをみんなに　そしてクリーンに,⑬気候変動に具体的な対策を,⑫つくる責任　つかう責任	バイマスボイラー使用により二酸化炭素の排出量を約７５%削減	指標	二酸化炭素の排出量削減率
				目標	2030年までに2018年比50%削減
社会	ＳＤＧｓに関わるショッピングセンターや自治体企業開催のワークショップ参加や、工場見学受け入れ、学校での授業、セミナーでの講演等	④質の高い教育をみんなに,⑪住み続けられるまちづくりを,⑧働きがいも経済成長も	２０２３年実績　ワークショップ７回（今後予定８回）、授業５回（今後予定４回）、セミナー講演９回	指標	ワークショップ、学校授業、セミナー講演数
				目標	毎年ワークショップ１０回、授業５回、セミナー講演５回実施（令和７年度まで）
経済	ＳＤＧｓに関わる展示会への出店	①貧困をなくそう,⑦エネルギーをみんなに　そしてクリーンに,⑭海の豊かさを守ろう	２０２２年度展示会２回出展	指標	展示会出展回数
				目標	毎年展示会３回出展（令和７年度まで）

ガバナンス	チェック	
	☑	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ 二酸化炭素の排出量の月度別実績グラフ掲示。社内会議で、削減のための方法確認
	☑	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 自社ホームページにて、環境への取り組み記載。二酸化炭素の排出量の実績と削減目標の公表